

ラグビー・ワールドカップ 2019 日本大会情報②

ラグビー・ワールドカップ開催まであと10ヶ月

ラグビー・ワールドカップ2019日本大会の開幕戦（2019年9月20日（金））までいよいよあと10ヶ月となり、ラグビーの母国英国でも盛り上がりを見せはじめています。

11月17日（土）には、「ラグビーの聖地」トウイッケナム・スタジアムにて、日本代表対イングランド代表の国際試合がおこなわれ、当日は8万1,000人以上のラグビーファンで埋め尽くされました。日本代表対イングランド代表は過去8度対戦していますが、「ラグビーの聖地」での対戦は初めてのことで、イングランドのラグビーファンにとっても注目の対戦となりました。

【「ラグビーの聖地」トウイッケナム・スタジアム】



試合は、前半に日本が2トライを決めるなど15対10でリードして折り返したものの、後半に入るとイングランド代表が底力を見せ、日本は3トライを奪われるなど後半0-25で無得点に終わり、15対35でイングランドの勝利となりました。

ほぼ満員となったスタジアムは、前半の日本リードに驚きを隠せない様子でしたが、好プレーには両チームの選手に拍手を送るフェアな応援が印象的でした。試合後は、お互いの健闘を称え合う「ノーサイド」の精神を実感します。

【「ラグビーの聖地」でおこなわれた日本対イングランド戦】



また、11月15日（木）より来年8月31日まで、トウイッケナム・スタジアムに併設する「ワールド・ラグビー博物館」で、日本のラグビーの歴史を紹介する特別展示も開催されています。

【トウイッケナム・スタジアムに併設する「ワールド・ラグビー博物館」】



日本のラグビーの歴史

日本では、1874年に開港間もない横浜にて、英国の船員たちが初めてラグビーの試合がおこなわれたとの記録が残っています。その後、1899年に慶應義塾大学の学生に紹介され、1920年代には日本国内に約1,500ものラグビーチームができ、6万人もの選手がプレーしていたとのことです。

日本のラグビー発祥の地、横浜で、来年開催されるラグビー・ワールドカップ2019日本大会の決勝戦がおこなわれます。

【1874年、横浜でおこなわれたラグビー試合の様子】



ラグビー・ワールドカップ 横浜での開催試合

横浜国際総合競技場では、プール戦 4 試合、準決勝 2 試合、決勝戦の計 7 試合が開催されます。

【横浜国際総合競技場の対戦日程・カード】

カテゴリー	日程	対戦カード
プール戦	2019年9月21日(土)	ニュージーランド v 南アフリカ
プール戦	2019年9月22日(日)	アイルランド v スコットランド
プール戦	2019年10月12日(土)	イングランド v フランス
プール戦	2019年10月13日(日)	日本 v スコットランド
準決勝	2019年10月26日(土)	
準決勝	2019年10月27日(日)	
決勝	2019年11月2日(土)	

どの対戦カードも世界のトップレベルの競合同士の対戦で、世界中からたくさんの観戦者が、神奈川、横浜へ訪れることが期待できます。

前回 2015 年のイングランド大会では、海外からの観戦者 40 万 6,000 人以上、経済波及効果は約 3,330 億円 (23 億ポンド) との発表もあり、日本大会でも特に欧州・オセアニア地区からの多くの観戦者が期待されています。

英国でのスポーツ観戦の楽しみ方

英国ではスポーツ観戦前後に食事や飲み物を楽しむ「スポーツ・ホスピタリティ」が広く普及しています。

サッカー観戦前にスタジアム内のレストランで食事やワインを楽しんだり、ウインブルドンでのテニス観戦では優雅にアフタヌーンティを楽しみながら、といった具合です。ラグビー観戦でもやはりスタジアム内には多数のレストランが用意されています。

【スタジアム内で食事を楽しむ「スポーツ・ホスピタリティ」】



家族はもちろん、ビジネス・パートナーとの利用も多く、価値ある試合観戦という特別な時間を共有することで、お互いの距離が縮まり、商談も上手くまとまる効果があるようです。

来年のラグビー・ワールドカップ 2019 日本大会では、この「スポーツ・ホスピタリティ」が本格的に横浜を含む開催地に導入されます。英国で「スポーツ・ホスピタリティ」が広まったのは 2000 年以降、2015 年のラグビー・ワールドカップ・イングランド大会でも多くの観戦者が利用しました。

来年のラグビー・ワールドカップ 2019 日本大会は、日本の「スポーツ・ホスピタリティ」普及のきっかけになりそうです。

以上

本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。